

ひとりでできるもん!!～あいさつ編～

大人も子どもも、あいさつをすると気持ちがいいね!

挨拶はコミュニケーションの基本です。お子さんがすすんで挨拶をすることができたら嬉しいですね。日頃の習慣として、挨拶することの大切さを伝えていくにはどうしたら良いかを考えてみましょう。



大人が普段している事を子どもはよく見ています。子どもにとって当たり前の習慣となるには、大人が手本を見せることも大切です。きちんと挨拶できていたかな?と自身のことを振り返ってみましょう。「ごあいさつは?」「なんて言うんだっけ?」と挨拶を促すことよりも「おはよう」「ありがとう」など、大人が笑顔で挨拶している姿を見せることで、お子さんが「同じようにあいさつしてみよう!」という気持ちになれるよう、関わってみましょう。

どんな時に挨拶をするの?

挨拶にも様々な意味や、適切なタイミングがあります。必要な時に適切な挨拶ができるよう、大人も意識してみましょう。

★時間の挨拶

おはよう、こんにちは、
こんばんは、おやすみなさい等

★気持ちを伝える挨拶

ありがとう、ごめんなさい等

★場面による挨拶

いただきます、ごちそうさま、
いってきます、ただいま等

お子さんの個性や気持ちも大切に

積極的な子もいれば、恥ずかしがりの子もいるなど、子どもの姿も様々です。また、その時の気分によって言葉が出てこないことや言いたくないということもありますよね。



挨拶ができないからと叱ったり、無理強いしたりするのではなく、お子さんの個性や気持ちを大切にしながら、親子で気持ち良く挨拶ができると良いですね。

ごっこ遊びでやってみよう!

